

一般社団法人 ペットパーク流通協会
成立後の取り決め一覧

2018.1 改定

	状態	返品可能期間	特例事項および追記として	特例の場合の返品可能期間
1	噛み合わせ(あごズレも含む)	開催中	事前にスタンダードを把握しておくこと、成長する過程を判断して返品のないようにする。 猫種によっては成長と共に横方向に変形することもあるのでブリーダーも自主申告するように努める	
2	泉門(へこ)	開催中	自社における許容範囲を事前に決めて後日に返品のないようにする。	
3	デベソ	開催中	獣医師が手術の必要性を診断された場合は落札された内容を確認してパーク側で宅配する。	一週間以内
4	鼠径・腹壁ヘルニア	開催中	獣医師が手術の必要性を診断された場合は落札された内容を確認してパーク側で宅配する。	一週間以内
5	皮膚の状態(フケを含む)	開催中	パークのチェックにて「赤み」「カサカサ」「かさぶた」など告知されているものは受け付けない。	
6	指(パッドを含む)や耳等の欠損	翌日まで	単純な見落としが多いので落札後には注意すること。	
7	下痢	翌日まで	移動におけるストレスや購入後の管理により症状の出ることもあるため長期の返品期間を設けません。	
8	嘔吐	翌日まで	移動におけるストレスや購入後の管理により症状の出ることもあるため長期の返品期間を設けません。	
9	咳	翌日まで	移動におけるストレスや購入後の管理により症状の出ることもあるため長期の返品期間を設けません。	
10	その他の体調異常	三日以内	購入者・販売者・パーク担当者のプロによる目視により異常だと判断されるケース。 獣医師の診断がなくとも経験による判断にて三者の相談により解決することとする。	
11	胸周りの骨格の状態 犬種や猫種によっては許容範囲であるものもいるので販売する自信がない場合はその場で返すこと	開催中	胸がやや浅い。胸骨の幅が狭い。このようなことは犬種独自の骨格で成長とともに問題にならないことが多いので、後日の返品は受け入れられない。漏斗胸であると指摘されるケースも考えられるが後天的に異常になることは少ないと考えられるので、入荷後は呼吸の状態やエサの食べ具合などをよく観察して後日の返品にならないようにする。但しスコテッシュホルドやアメリカンカールについてはレントゲンなどの検査を受けて何らかの異常がある場合はパーク担当者が対応について宅配をする。	二週間以内
12	四肢および指の変形	二週間	成長と共に変形する個体もあるが『疑い』として返品できるのは二週間以内とする。	
13	痩せている	開催中		
14	目のキズ	当日まで	上記と同様で入荷後の管理にも注意が必要。遺伝性の問題で水晶体などに異常があることもある。	一週間以内
15	眼球の白濁・キズ	三日以内	体調の著しい悪化や目の周辺のケアを怠ると白濁することもあるので返品期間は長くできない。	
16	瞳孔膜遺残	三日以内	ライトの当て方が悪く見落とすほど小さいこともあるが返品できる期間は三日とする。	
17	左右の眼球の大きさ違い(小眼)	当日まで	単純な見落としが多いので落札後には注意すること。	一週間以内
18	先天性だと思われる眼球異常	一ヶ月	検査の必要な症例の場合は確定までに時間を要することもあるため 異常を感じた場合にはパーク担当者に速やかに報告して円滑に解決できるようにしておく。	
19	頬皮腫(眼球に毛が生えている)	当日まで	まぶたを捲らなければ発見ができないこともあるので短鼻種は特に注意する。	一週間以内
20	チェリーアイ	一週間以内	旬膜が赤いという疑い例は除外する。吐出して手術の必要があるものに限る。	
21	逆まつげ (眼球に触れる睫毛重生に限る)	一週間以内	持ち帰って確認すると、かなり短い毛が眼球に当たり涙が止まらなくて発覚することもある。 また、眼球に触れている睫毛を抜いたことを告知せずに出荷された場合は【特例事項】の返品規定に従う。	一ヶ月以内
22	心雑音	三日以内	心雑音のグレードとしては6段階表記ですが開催中の会場内の雑踏の中では聞き逃しは考えられます。 自社に持ち帰り静かな場所で再度聴診することで異音に気が付くこともあります。 また『Grade I』から『Grade III』までは聴診した人の所見によるところが大きいので『Grade I だから大丈夫』だという判断はできません。 そのため期間内においては『心雑音』としての返品はお受けいたします。 それ以降は遺伝性または先天性の『心臓疾患』でなければ対応いたしません。	購入日より一ヶ月経過して二回目のワクチン接種時に心雑音が発覚することが多いが心雑音としての返品は受けない。この場合はエコー検査をする。
23	心臓疾患 幼齢時に問題になる心臓疾患は遺伝性や先天性のケースです	二ヶ月	聴診することで心音に異常が発覚して、検査をすることで心臓の病気が分かることを出荷者は理解してこのようなケースは販売して対価を頂けることが出来ないため、返品としてブリーダーは対応する。 エコー検査を実施することで確定された心臓疾患であれば返品の流れとするが、機能的(生理的)雑音であればパークとしては対象外とする。 入荷時の聴診には問題がなくても後発的に発症して、1歳未満で死亡につながる事例も種類によってはあるのでブリーダーも責任を負わなければなりません。	
24	膝蓋骨脱臼(パテラ)	当日まで	パークでは獣医師の5段階グレード指針より厳しい基準を設けチェックしております。入荷後の管理でも膝蓋骨の状態は変化することもあり後天的に悪化することもあるので長期の返品期間は設けません。 なお強い力を掛けて触るとグレードが悪化するので、パーク担当者の指示に従えないような方法で膝の状態を確認されている場合は、今後の返品については一切応じられない。	一週間以内

	状態	返品可能期間	特例事項および追記として	特例の場合の返品可能期間
25	パルボだと確定されたもの	開催日を含め 5日以内	獣医師における確定診断を必要としてパーク担当者に速やかに連絡をする。 移動などは困難になるため、管理については購入した方に一任する。	
26	顔(頭部)の歪み	一週間以内	犬種・猫種的な要因で成長に伴い変形することも考えられるが、返品の対応日数としては一週間とする。 犬種や猫種の特性を理解してバイヤーが購入時に注意することである。	
27	歩行異常 (旋回も含む)	一週間	膝蓋骨の状態ばかりを気にせず、入荷後には広い場所で歩行状態を確認すること。 子犬や子猫はほとんど寝ているのため確認せずに出荷される方も多いので注意することである。 旋回については神経・視力・三半規管などの異常だと思われる。 獣医師の診断書がなくても動画にて確認が可能なのでパーク担当者にその旨を伝える。	
28	神経性の異常と思えるもの (震え・ひきつけ)	一週間	場所の変化だけでなく神経の異常も十分に考えられる。獣医師に診断して頂いても『所見』についての診断しか下せないで、動画など確認できる証明をパーク担当者に提出して判断に従う。	
29	シラミ等の外部寄生虫	三日以内	シラミの卵がなかなか落とせないという理由で返品期間を三日以内に設定してあるが 近年では薬品の効果が高いので、開催中に見落とした場合は獣医師に相談して自社で改善すること。 外部寄生虫の報告は必ずパーク担当者にする。	
30	真菌	三週間	兄弟を何頭か購入されていても、脱毛や皮膚の異常等が確認できるものしか返品はできない。 真菌においては人にも感染することをパークでは重く受け止め、繰り返し真菌の発生の報告がある 出荷者についてはパーク担当者より指導および改善の要求を行う。	
31	疥癬(カイセン)	一週間	改善する様子がなければ出荷自体を制限いたします。その情報については他のパークとも共有いたします。	
32	アカラス	4ヶ月	生体の健康状態や、皮膚の管理を常日頃から心掛けていれば何も問題ではありません。 発症のきっかけは免疫力の低下だと考えられていますが、完治までに数ヶ月も掛かることがあるので 早期であれば返品に応じて欲しいと申し出がありましたので返品可能期間を定めます。	
33	視力異常だと思われるもの	三週間	獣医師2名の診断書を必要とする。	
34	聴力異常だと思われるもの	三週間	獣医師2名の診断書を必要とする。	
35	スタンダードから逸脱したもの	半年	パーク担当者の判断により判定する。『オーバーサイズ』のような大きさの問題ではなく あきらかに伝票に記載された品種と違うものだと伺えるものは返品対象とする。 ハーフにおいても伝票に記載されている内容の掛け合わせとは違うことがDNA検査で発覚した事例が発生。 検査が高水準であることが確認されているので、状況によっては全額を返金する場合があります	
36	レッグペルテス(大腿骨の壊死)	半年	遺伝的な要因を示唆される疾患なので返品可能期間を長めに設定してあります。	
37	股関節形成不全	半年	遺伝的な要因を示唆される疾患なので返品可能期間を長めに設定してあります。	
38	てんかん	三週間	獣医師の診断書も必要だが、プロフェッショナル同士なので動画にて確認することも認める。	
39	門脈シャント	一ヶ月	血中のアンモニアの数値やエコー及び総胆汁酸検査での結果で診断されるが アンモニアの数値と体調の状況によっては、それ以上の検査をせず速やかに返品対応する。	
40	水頭症	一ヶ月	大泉門が開いていなくても症状が出ることはある。『ペコは無いから違う』というのは不勉強です。 エコー検査で脳室状況を確認することはできますが、問題行動を伴っているなどの状況により 獣医師より診断されることもあるので速やかに対応するように努める。	
41	骨軟骨異形成	三ヶ月	遺伝的な要因を示唆される疾患なので返品可能期間を長めに設定してあります。 スコティッシュ・ホールドやアメリカン・カールなどには当然のようにある病気なので パーク独自の取り決めで、折れ耳同士の繁殖について制限をしております。 そのため三ヶ月程度までは返品に応じますが、それ以降の返品はお受けすることはできません。	
42	舌潰瘍	一週間以内	一時的な体調の低下に伴うものか、ウイルス性のものなのかはパークでは判断できない。 そのため出荷者およびバイヤーは開催中には一度確認をする。返品期間を7日に設定しているのは 興奮状態で口腔内を確認できない個体があるためである。	
43	伝染性腹膜炎(F.I.P) ※コロナの数値による対応	一ヶ月	~FCoV感染判定基準~ 400倍未満 FCoV感染の可能性は低いと思います。 400~1600倍未満 FCoVの抗体価が認められます。2~3週間後には再検査をしてください。 3200倍以上 特徴的な臨床症状が認められる場合はF.I.Pの発症の可能性が疑われます。 肝機能の状態なども合わせて検査して伝染性腹膜炎(F.I.P)との疑いになります。 体調に異常がないことや腹水も滞留している状況でないケースもありますが FCoV感染判定基準3200以上であれば速やかに返品に応じることとする。 ワクチンや管理環境等のストレス要因も数値には影響すると考えられますが、 数値が400倍未満の場合、現在の判断では返品には応じられません。	

	状態	返品可能期間	特例事項および追記として	特例の場合の返品可能期間
44	近親交配		<p>実の親子間、同じ父と母から生まれた兄弟間、また父は違うが母は同じ(母は違うが父は同じ)の兄弟間の交配については【近親交配】として位置付け出荷時には告知義務があります。</p> <p>頭数の少ない品種の場合や必要性のある掛け合わせについては、血統書協会より事前の許可が下ります。品種向上を目的として近親交配を行うことについては理解しておりますが、一般へ流通する場合には適正ではありません。特に日本犬や猫をフリーディングされている方は交配時に注意をしてください。告知なく出荷された場合は即全額返金。遺伝疾患を指摘された場合の賠償においても責任を負うこととする。</p>	
45	血統書内容についての問題		<p>ウエイティングリスト(予備登録)についてはジャパンケネルクラブ以外の協会においても指定があります。</p> <p>またノーレコード(空欄)がないか交配するときに事前に調べて流通させてから問題にしないこと。</p> <p>猫においてもノーレコード(unknow)やドメスティックキャットなどで空欄であれば事前告知を必要とする。</p> <p>毛色や異種交配等で疑義が発生した場合も、事前ブリーダーしか知り得ないことなのでブリーダーが金銭を含めた全責任を負うこととする。</p>	

注意事項

(一社)ペットパーク流通協会

- 当事者同士でやり取りにおいての返品や返金は認めておりません。
 - 返品の内容や対応については各ペットパークの担当者に報告することとする。
 - 返品や返金の対応のあり方は『成立後の取り決め一覧』を参照にして各ペットパークの対応に委ねる。
 - 返品の内容によっては、自社に関連しない他の獣医師の診断書を必要とする。
動物愛護管理法によって決められた日齢を経過していない生体は流通することはできない。
 - そのため生年月日に関するトラブルについては出荷者の責任である。
 - 取り決めに定められていない遺伝性や先天性な事例においては返品期間を一ヶ月を目安に担当者・購入者・出荷者で検討をする。
一般のユーザーに販売した後のトラブルについては販売者責任にて対応しなければならない。
 - 大きな金銭トラブルを回避するためにもペット保険の加入をパークでは推奨しています。
 - 返品を強引に押し付けるような行為をせず円満に解決するように努めなければならない。
 - 返品されることに不満を持つ前に出荷前に出来るだけの努力はするべきである。
 - パークで購入した生体を同業者へ転売した場合にも、一般へ販売したことと同様に販売者が責任を持ってトラブル等は解決しなければならない。
 - 返品を受け渡しは、原則として次回のペットパーク開催日に会場とする。それまでは責任を持って管理をすること。
 - 何らかの事由で次回のペットパークの開催日に返品ができない場合は『買主』『出荷者』で協議をする。
 - 輸送ができない場合や、次回のペットパーク開催以前に返品をする場合には、双方の負担にならないよう協議をし、中間地点にて生体の引渡しをすること。
返品される生体の診断書、治療費、検査費、ワクチン等の管理費、輸送費については『買主』の負担とする。
マイクロチップ装着の生体の返品については、原則受けることとする。正し装着している場合は、データシールの添付を義務付けることとする
- 子犬の遺伝性疾患の返品不可
- 注意) 開催中…ペットパークの終了まで。 当日…ペットパーク終了後に自社に持ち帰り必ず見落としがないか確認して翌日に持ち越さない。

※ 【成立後の取り決め】については生体流上において問題点などがあれば協会にて協議をして改訂をいたします。